

<はじめに>

これは、自分自身の記憶のもとに報告するものである。この程度の報告でとやかく言われたら、大変こまるし、それはとても閉鎖的な印象になりかねないと思う。このような考えのもと、個人の責任において、ここに記す。

<これまでの経緯>

日本ユネスコ協会連盟（以下、日ユ協連）は「どうも財政はたいへん」（参考：[前回評議員会報告](#)）ということが判明した。つまり赤字で、このままだと破綻してしまうかもしれない。この“赤字問題”を解決する為に、下の「事業改善3カ年計画・案」なる項目があり、みんなにも届いたであろう機関誌に「アジェンダ（案）」なるものが載ったわけだ。

#### 日ユ協連の第26回 評議員会（2012年1月14日開催）報告

日ユ協連の第26回 評議員会（2012年1月14日開催）に関東ブロック選出青年評議員として出席した。なお今回も、拳手の上、質問をしたので、あわせて報告する。

<今回の主な内容>

- ・松田会長挨拶
- ・新設構成団体加盟式
- ・前回評議員会の議事要録の承認
- ・東日本大震災子ども支援募金の進捗報告、今後の支援
- ・今年度8～12月の事業報告、今後の日程
- ・事業財務改善3カ年計画（案）について

<発言内容>

上の「事業改善3カ年計画（案）」は、機関誌1月号の「アジェンダ（案）」を理事が説明した後、質疑応答の時間となった。青年評議員として発言した内容は以下の通り。

まず、評議員会の資料として送られてきたもの（アジェンダ・案）は、機関誌で配布したものと全く同じ内容のものである。こんなものは、わざわざ送って頂かなくてもいい。これこそ経費のムダではないか。むしろ、これら（当日配られたいくつもの資料）を送って欲しかった。この量は、その場で考えろと言われても、僕の頭では追いつかない。

冒頭、「長い間にたくさん手を出したから収拾がつかなくなったから、3カ年計画をやる」と会長のご発言があった。しかし『なぜ赤字になったのか』について、もうちょっと正確に説明されるべきではないか。われわれユネスコは、第二次世界大戦の反省のもとに行っている運動で、なぜこの赤字問題の反省ができていないのか不思議である。この計画は、削減ありきで進んでいるが、責任を説明せずに「削減する」というのは違和感がある。

今回の赤字問題を解決するには、歳入を増やすか、歳出を減らすなどの対策になるだろうが、個人的には歳入を増やせばいいと思う。例えば、会費を500円上げると歳入がいくら増えるか会員がどれくらい減るなどのシミュレーションをやり、その上で判断したら如何か。

（「事業改善3カ年計画（案）」をブロック毎に議論する）ブロック代表者会議であるが、関東ブロックはまさかの平日開催。これは休日にするべきで、2、3回とあるなら是非ご検討いただきたい。

以上

<質問に対する回答>

上の発言を行ったところ、野口理事長より以下の回答を得た。

「きょう賜りましたご意見は、この案の中でできる限り反映してくようにしていきたいと思います。また、ご質問には必ずしも今日この場ではじゅうぶんお答えできませんでしたが、何らかの形で回答していきたいと・・・」

<みんなに知って欲しいこと&個人的感想>

※評議員会について書いてありますが、あくまでも個人的解釈、印象・感想です。

- ・今回の評議員会でも、嬉しいことに発言の機会があった。評議員会自体は、前回に比べ更にピリピリしている雰囲気だった。また今回の意見に対する回答は（オブザーバー参加時も含めた）これまでの経験上、期待できないだろうと思う。ただ、こういう意見の人もいるんだぞと伝えられたと思う。
- ・「新設構成団体加盟式」は、玉川大学ユネスコクラブだった。いわゆる大学ユネスコとして認知されていた団体が正式に構成団体になった。同クラブには、約20名の学生がいるという発表があったので仲間が増えて嬉しい限りだ。いずれ、全国的青年連絡組織にも所属するだろうから楽しみだね！
- ・今回の評議員会では、「事業改善3カ年計画（案）」の部分で、細かな削減内容が出てくるのではないかと予想していたが、「アジェンダ（案）」の説明だった。
  - 赤字なので、事業の削減は避けられそうにない。つまり青年事業だってその対象になりかねないわけだ。ユースセミナー、全国子どもキャンプ、スタディーツアー…は、削減の嵐の中でいったいどうなるのか注視していきたい。
  - この赤字問題は、実はただ削減すればいいものではないと思う。というのも、日ユ協連の構造問題が絡んでいるからだ。この構造問題を抜本的に改革しようという意気込みが「アジェンダ（案）」から読み取れる。
  - でもやっぱり、『いま、なぜ赤字になってしまったのか』の原因究明をしないと、同じ過ちをおかしてしまうのではないだろうか。
  - この計画に関する説明や議論は、各ブロックで開催される代表者会議で議論されるということらしい。同時に、機関誌を通じて会員の意見を募集しているので、どんどん意見を送るべきだと思う。会長は「箇条書き」を希望していたよ。
- ・ところで、前回評議員会（昨年7月日開催）で提案されていた「特別委員会の設置」は何も説明がなかったが、いったいどうなったのか疑念が残る。
- ・青年評議員は交通費出る。次回の青年評議員選挙の時は全ブロックから立候補が出るといいなと思う。

文責：東京ユネスコみどりの会 手島 敬  
（関東ブロック選出青年評議員）